

廃止した事業・選択しなかった事業とその理由

<1ラウンド目>

商業振興事業	放課後補習教室事業	市立病院の運営事業	スポーツ推進事業	歩行空間のバリアフリー化事業
	地域コミュニティ促進事業 公民館・コミセン事業に統合	・民間委託 ・質の低下はさせない	・市民にまかせる	道路整備に統合

<2ラウンド目>

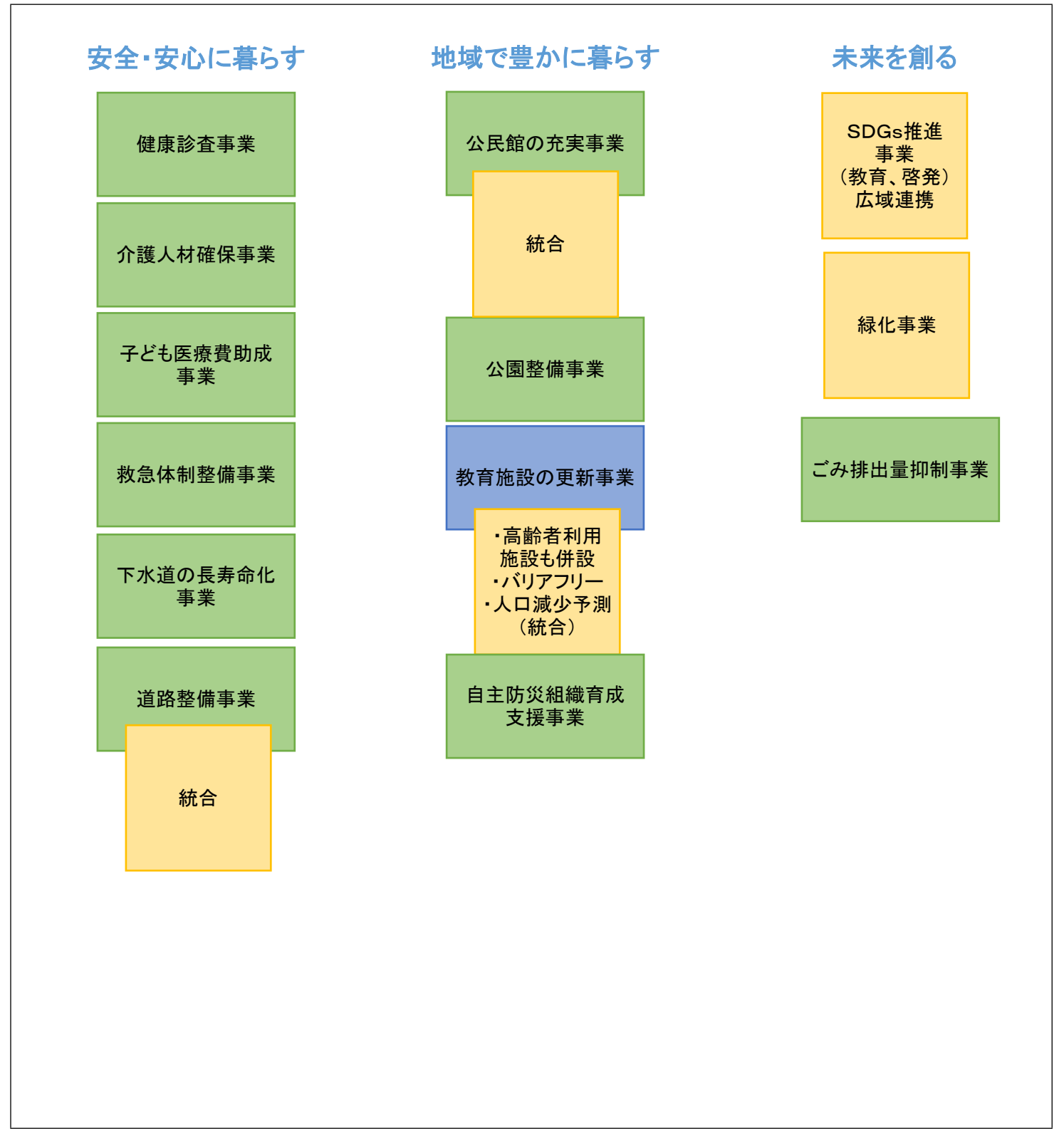
高齢者がいきいき暮らせる拠点整備事業			
空き家の利活用事業			
職住近接にかかる支援事業			
商業振興事業			

※予算枠シート等に残されていた事業

観光交流活性化事業	グローバル教育事業
-----------	-----------

茅ヶ崎市の未来のために大切にしたいこと、譲れないこと

<バーチャル市長の振り返り>



<その他議論>

茅ヶ崎市の未来を考えるポイント

安全・安心に暮らす

- ・市が担うべきものーインフラ、
生命健康 } にかかわるもの

地域で豊かに暮らす

- ・地域交流、かかわりの創出により人を豊かにする
- ・多様な主体のかかわり、多様な力を活かす
- ・未来を創る人が育つ

未来を創る

- ・持続可能な地域
- ・住みたい場所
- ・人間らしく暮らす

「茅ヶ崎市の未来を考えるポイント」発表記録

我々の班は3つにまとめたのですが、まず、安全・安心に暮らすということで、5年目の廃止した事業の時に、市が自前で運営する必要があるのかなのかという所が一つ議論のポイントになりました。その結果、まず、インフラ、生命・健康にかかわるものはやはり市が絶対にやらないといけないということで、安全・安心に暮らすというポイントになりました。事業仕分けをしていくと結局、市が独自でやらなくてもいいのではないかという、例えば、商業振興事業だったり市立病院の運営とかもむしろ民間に任せて質の低下を防いだ方が良くはないかなど、そういう話になりました。そして、我々が安全・安心に暮らすだけでなく、地域でもっと豊かに暮らしていきたいということで、公民館をより充実させ、そこは統合するという考え方になりました。事業として統合したのは、放課後の補習事業だったり地域のコミュニティを促進する事業だったり、こういったものが一斉に集まることによってむしろ市民の方々全員がそれぞれ持っている多様な力をもっともって活かして、みんなで運営をしていくということができていくと、教育施設や自主防災とかに繋がっていき、結果として未来を創る人が育つようなコミュニティが機能する状態になっていくのではないかと考えました。さらに、それでは終わらず、我々ももっと未来を見据えようということで、未来を創る活動として、緑化事業だったり海を綺麗にする事業をまとめた、SDGsの推進事業という新しい事業をつくり、これをもっと教育に啓発していき、SDGsって何なのだろうということをみんなに分かってもらい、一つひとつの目標を設定してそれを達成していくようなこと、結果として未来の子もたちのための持続可能な地域だったり、我々も本当に住みたい場所であり、結局人間らしく生きられる、暮らせるそんな地域ができれば面白いということでまとまりました。これだったら私も市長になりたいなと思いました。以上になります。

廃止した事業・選択しなかった事業とその理由

<1ラウンド目>

商業振興事業	地域コミュニティ促進事業			
行政がやらなくても人の動きがあれば活性化	民間でもできる			

<2ラウンド目>

ごみ排出量抑制事業	健康診査事業	公民館の充実事業	市立病院の運営事業
企業にまかせる	個人負担でやる	教育施設の更新と併せて公民館を代替する	民間でも可能

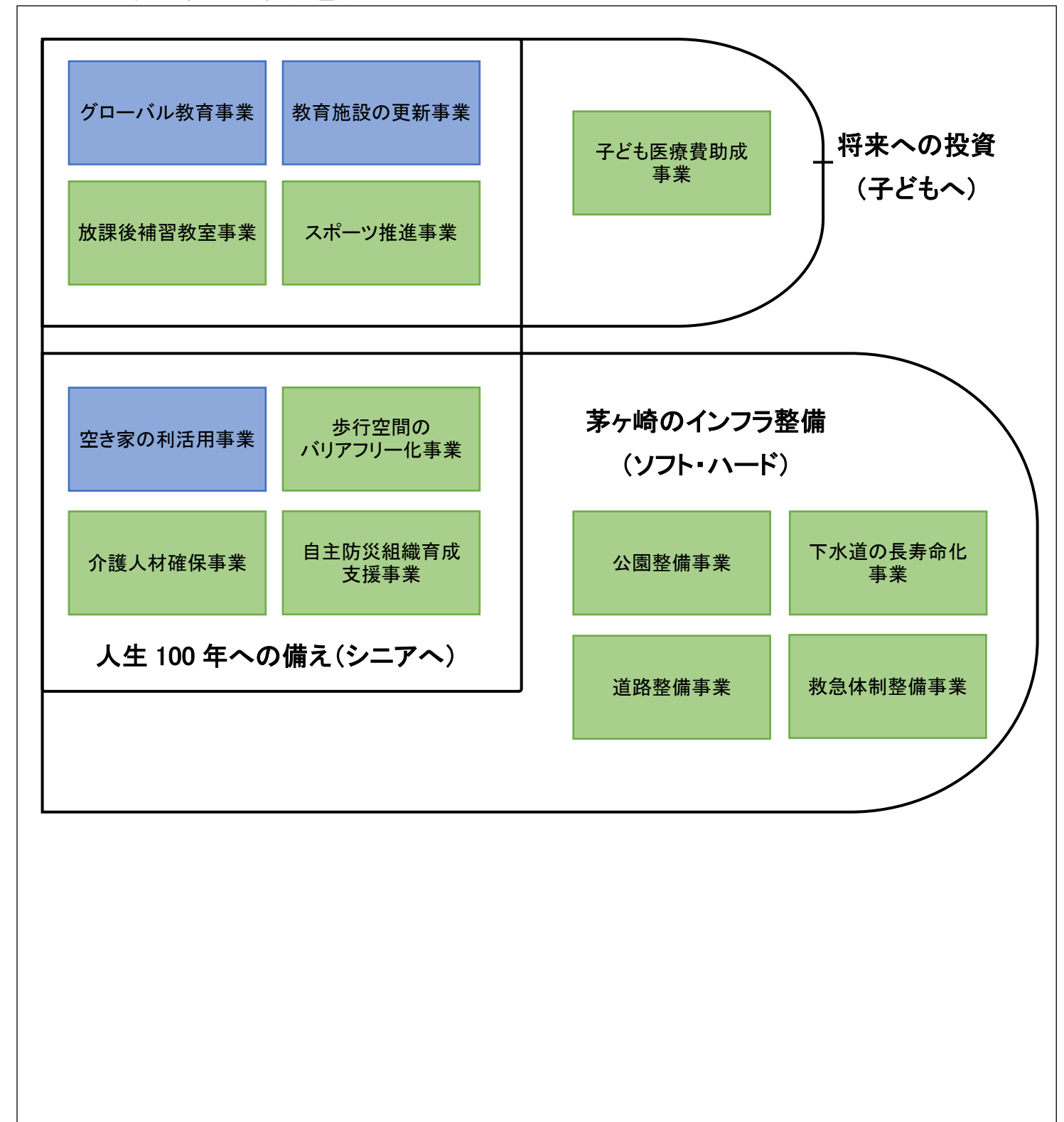
カードが剥がれていたため、グループワーク時の写真から元配置を判断した。

※予算枠シート等に残されていた事業

観光交流活性化事業	高齢者がいきいき暮らせる拠点整備事業	職住近接にかかる支援事業
-----------	--------------------	--------------

茅ヶ崎市の未来のために大切にしたいこと、譲れないこと


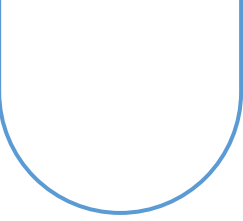
<バーチャル市長の振り返り>



<その他議論>

--

茅ヶ崎市の未来を考えるポイント

<p>将来への投資(子どもへ)</p>		
<ul style="list-style-type: none"> ・新旧混合 ・一緒に学ぶ ・歳入を増やす 		
<p>人生 100 年への備え(シニアへ)</p>	<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">シニアが活々と稼げる</p>	
<ul style="list-style-type: none"> ・その日が楽しくなるような 		
<p>茅ヶ崎のインフラ整備(ソフト・ハード)</p>		
<ul style="list-style-type: none"> ・民間でできないことを市が実施する 		
		

「茅ヶ崎市の未来を考えるポイント」発表記録

Bグループは、まず大前提でこだわったところが、市政ですので収入が増えなければ何もできない、無い袖は振れないということと、シニアが増加するということは紛れもない事実だということから、全部グルーピングしたところを一気通貫で貫いている考え方として、シニアが生き活きと稼いでいける、そういう茅ヶ崎市をつくるというコンセプトをまず作りました。シニアが生き活きと稼げるというコンセプトで、最初何があるかというところで、将来への投資、これは子どもへの投資なのですが、将来への投資においてもシニアと子ども、新旧混合一緒に学ぶ、そういうことで、シニアの経験してきた知恵・知見といったものが子どもにいろいろな授業を通して伝えられる、それを今まではどうしてもボランティアベースということだったと思いますが、しっかり先生ということで収入に繋げて頂く。これは下世話な言い方ですけども、収入が増えれば当然茅ヶ崎市としても税収が増えることとなりますので、教育において将来への投資、子どもへの投資においてもシニアの人に稼いで頂くということがまず一つ。次に、人生100年への備え、これは我々が事業をグルーピングすると一つひとつが単独のグループにはならない、それぞれが絡み合っていることになるのですが、人生100年への備えというところでは、先ほど申しました将来への投資への教育事業に加えて、空き家の利活用だったり、いわゆるシニアの方への必要な整備、これは先ほど前提条件にありましたように、収入がどんどんどんどん減って、税政は苦しくなる一方だということで、最低限何をシニアの活躍のために残さなければいけないかという、人生100年への備えとして、その日が楽しくなるようなというコンセプトに基づいた事業を入れて残してあります。最後に、茅ヶ崎のインフラ整備ということで、これも先ほど言いました人生100年への備えと絡んでいるのですが、人生100年への備えの方は、茅ヶ崎のインフラ整備として言いますとソフトの部分のインフラ整備、一方でハードは我々としては民間では到底できない、そういったインフラ整備、逆に言いますと民間でできるインフラ整備は、選挙には負けてしまうかもしれませんが、いろいろ苦渋の選択で限られた予算枠の中で民間でできるインフラ整備は取り除いてどうしても公的なところでやらなければいけないインフラ整備だけは残したということで、もう一度言いますと、シニアが生き活きと稼げる、そういう前提で将来への投資、人生100年への備え、インフラ整備、そういったことでまとめてみました。以上です。

廃止した事業・選択しなかった事業とその理由

<1ラウンド目>

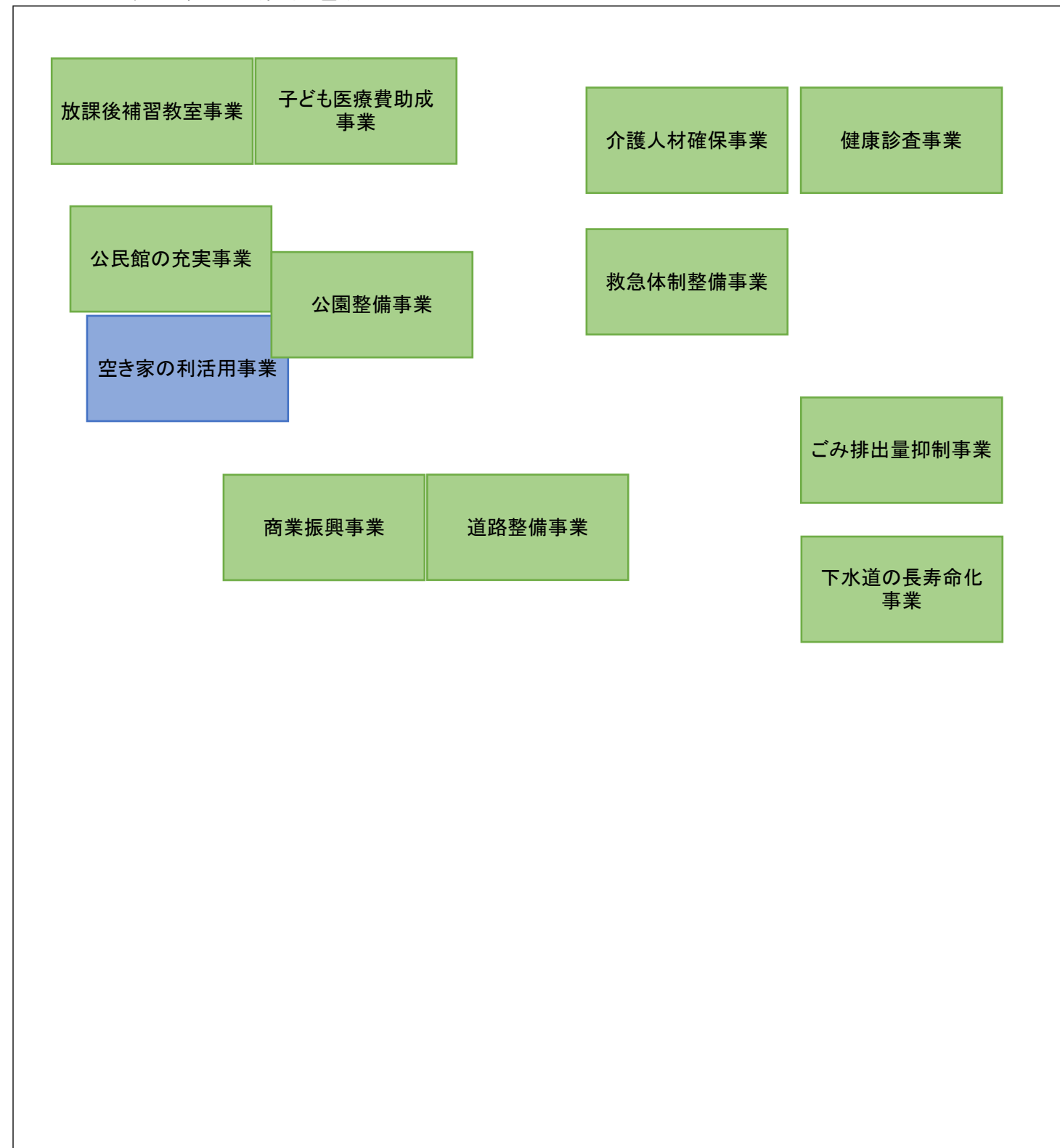
スポーツ推進事業	観光交流活性化事業	高齢者がいきいき暮らせる拠点整備事業	グローバル教育事業	職住近接にかかる支援事業
・民間委託でまかなえる				

<2ラウンド目>

歩行空間のバリアフリー化事業	自主防災組織育成支援事業	地域コミュニティ促進事業	市立病院の運営事業	教育施設の更新事業
・公共施設にはすでにある程度バリアフリーは進んでいる →事業費少ない？ 道路と統合	地域コミュニティ 自主防災 →空き家対策 ・公民館事業 ・子供教室 と複合させられるのではないか		・民間委託の可能性 ・近隣の自治体との統一化 ・歳出枠が大きい	

茅ヶ崎市の未来のために大切にしたいこと、譲れないこと

<バーチャル市長の振り返り>



<その他議論>

茅ヶ崎市の未来を考えるポイント

暮らしやすい街づくり

- ・インフラ整備(バス・道路)
- ・市民活動の充実
- ・教育の向上

人への投資

- ・縮小・削減ではなく「稼ぐ」ために何をしなければならないか

「茅ヶ崎市の未来を考えるポイント」発表記録

発表は意識していなかったので上手にみなさんの代弁をできるかわかりませんが、前半でメンバーの方から出たのは、各課から出た課題は要するに行政当局の部署ごとに出た課題ではないかという指摘がありまして、正直言うといっぱい課題はありますが、統合することによってかなり予算が削れたりするのではないかと、そういった議論がずっと交わされていました。もう一つ、議論がちょっとしにくかったのは、予算規模がわからないのです。数字でいくらかかっているのか、これが桁外れに大きい事業だったらメスを入れやすいのですが、小さい事業だったらもう民間に任せるとか、そういったこともできるのではないかという議論がけっこうされていて、面白いなと思っていました。そのような中で、大事なことでは、スポーツ事業は特に柳島の運動場がオープンしましたが、賛否両論、関係者もいらっしゃるかもしれませんのであまり言いませんけれども、残念なことに使われていないです。あれはPFIでやっていますが、あのようなものは行政ではなくてもう民間ですとか市民団体に任せれば良いのではないのかということで、ピックアップされました。それから、第2ラウンドの中では、バリアフリーや防災、コミュニティなどテーマが分かれています。この辺を一括で括っていったらもっと違うやり方、予算も削減出来るのではないかみたいな所が出ました。あとは、市立病院は予算規模的には相当大きくて、特別会計の大部分を占めているのだと思うのですが、これも民間の病院とかで役割分担していけば、なくても困らないのではないかと。藤沢、平塚の病院を上手に使ったり、ただ、医療レベルを落とさないということは考えながらもここは相当メスが入っても良いところだということでピックアップしました。振り返りは、要するに、似たようなテーマ、例えば、商業振興事業といっても、道路整備、道路計画と密着しているでしょうし、こういったものはまとめて考えるともっと違ったアイデアが出るのではないかということで、付箋紙を近付けて貼っています。ポイントとして、暮らしやすい街づくり、これが一番だということで書きましたけれども、もう一つ忘れていけないのは、どうやら今日の議論はいかに人口が減って予算が減っていく中で、どうやって支出を抑えていこうかということが中心でした。あまり面白くないですよ。会社なんかですとどうやって予算を増やしてどうやって使うかみたいなことがけっこうできるのですが、あまり元気が出ないテーマが多かったのですが、逆に稼ぐ力、茅ヶ崎市としてやはり稼がないといけないわけです。税収を増やしていかなければならない。だから、稼ぐために人に投資をしていく。こういった施策をもっともっと具体化していく必要があるのではないかと、そんなところも話し合いをしていました。全然うまくまとまっていないと思うのですが、私どものチームの発表は以上で終わります。ありがとうございました。

廃止した事業・選択しなかった事業とその理由

<1ラウンド目>

放課後補習教室事業	職住近接にかかる支援事業	介護人材確保事業	健康診査事業	スポーツ推進事業
・ボランティア活用	・インターネットの活用で対応	必要性があるか不明 民間でできないか	・自己負担	・ジムなどが多い

<2ラウンド目>

観光交流活性化事業	ごみ排出量抑制事業	公園整備事業	高齢者がいきいき暮らせる拠点整備事業
観光交流は民間で対応	民間委託	公園 新たに作る必要ない 維持だけよい 人口減のため 豊かな自然がある	空き家の活用で対応

茅ヶ崎市の未来のために大切にしたいこと、譲れないこと

<バーチャル市長の振り返り>

道路整備事業	市立病院の運営事業	公民館の充実事業	商業振興事業	グローバル教育事業
下水道の長寿命化事業	子ども医療費助成事業	地域コミュニティ促進事業		
歩行空間のバリアフリー化事業	救急体制整備事業	自主防災組織育成支援事業		
教育施設の更新事業		空き家の利活用事業		

<その他議論>

茅ヶ崎市の未来を考えるポイント

文化・地域・住みやすさの融合

コミュニティの形成

神社の多さ(祭り)

豊かな自然環境

・江ノ島、里山、えぼし岩、富士山、海が同時に見える

動きやすいまち

・自転車中心 ・人口もまちもちょうどよい

・コンパクト

地域でできることは地域へ

「茅ヶ崎市の未来を考えるポイント」発表記録

Dグループで話した内容なのですが、ポイントは4つです。そのポイントを考える建前で事業カードがあるのですけれども、この事業カードはどの市町村、どの自治体でもできるのではないかと、絶対に必要なものでしょう。その前提、そういったことがある中で、茅ヶ崎の未来を考えるポイントはこの4つに集約されるのではないのでしょうかという話になりました。一つ目、文化・地域・住みやすさの融合、コミュニティの形成とか、私が2年前に茅ヶ崎市に引っ越してきた時に驚いたことは神社の多さです。神社を中心としたコミュニティ、祭りといったところが未来を考えるうえで重要ではないですかといった話が出ました。二つ目、豊かな自然環境、これは話にあったのですが、海に行った時にえぼし岩と富士山と江ノ島が同時に見えるので、茅ヶ崎だけではない。あと、山に行ったら里山がある。こういった自然環境があるということがポイントではないかといったところ。この自然環境があるからこそ、そもそも公園整備とかそんな無駄なことはいらぬのではないかと話になりました。三つ目、動きやすいまちづくり、今も自転車中心のコンパクトシティといったところがけっこうあると思うのですが、今は人口もまちもちょうど良いのではないかと考えているので、これ以上広がってしまうと静かな環境とかいったところで保たれないような気がするという話があり、動きやすいまちづくりといったことがポイントではないかということになりました。最後に、地域でできることは地域へといったところで、こういった選択しなかった事業もあるのですけれども、基本的に今高齢者の方がどんどん増えていっていますといった時にその高齢者の方をどのように活用してコミュニティをつくっていくのかといったところの考え方が一つポイントになるのかなといったところで話し合われました。そういったところから、こういった市長の譲れないこと、大切にしたいことといった所を選択したということになります。以上です。

廃止した事業・選択しなかった事業とその理由

<1ラウンド目>

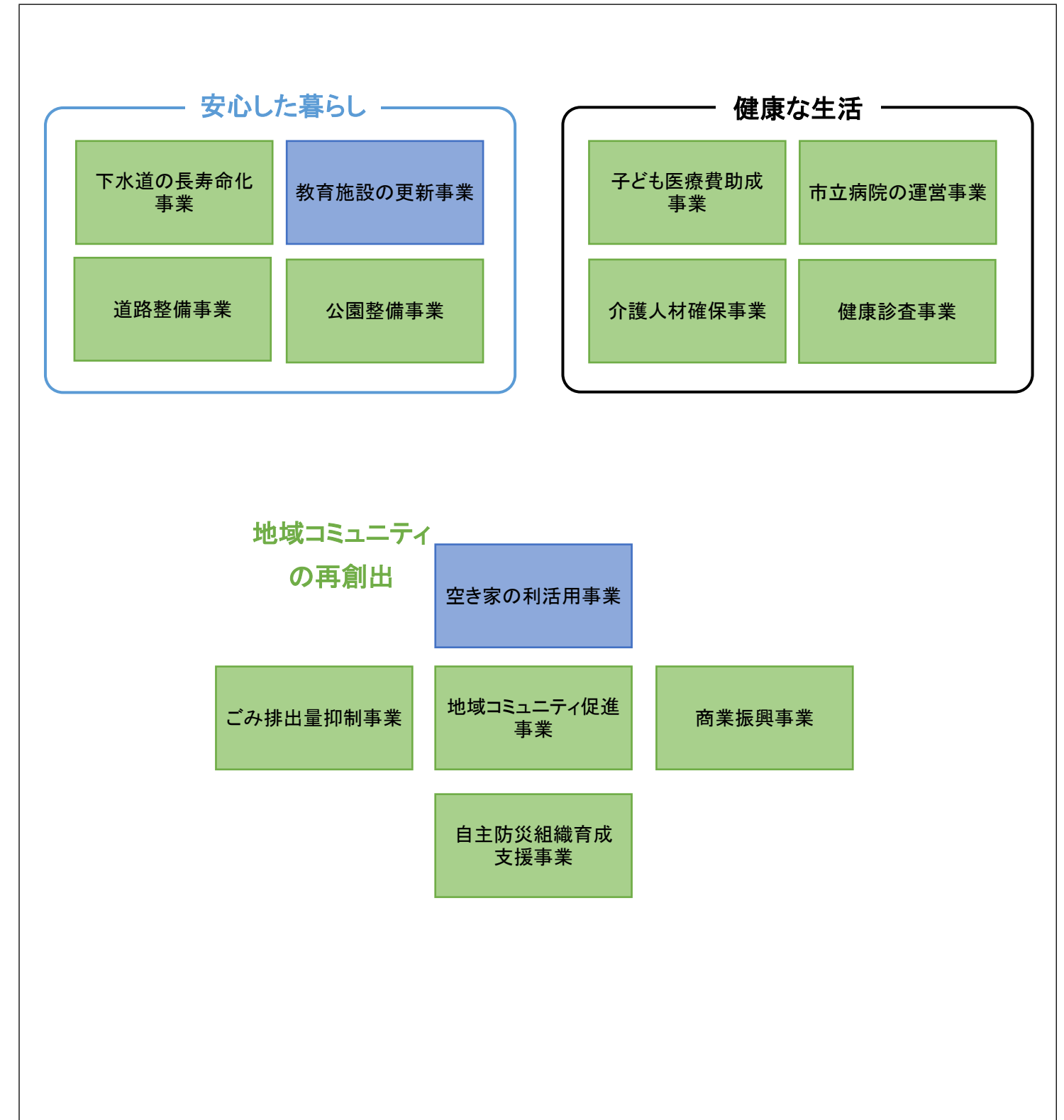
放課後補習教室事業	観光交流活性化事業	グローバル教育事業	高齢者がいきいき暮らせる拠点整備事業	職住近接にかかる支援事業
学習塾は必須ではなく、民間の代替手段があるため	他に優先する事業がある	市で今対応する事業ではない	地域コミュニティを促進するで対応可	

<2ラウンド目>

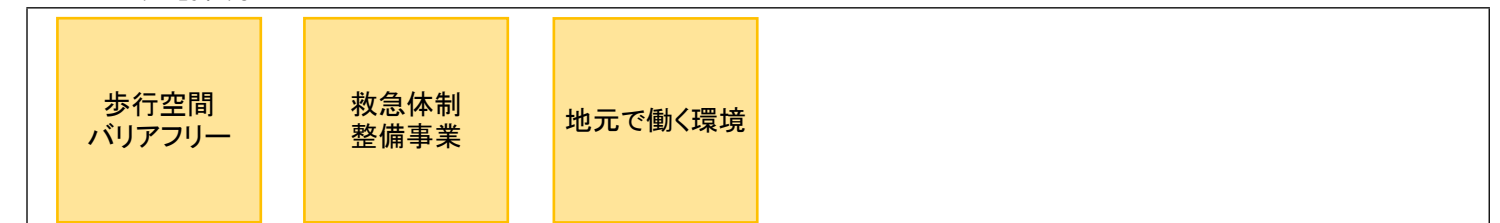
公民館の充実事業	スポーツ推進事業	歩行空間のバリアフリー化事業	救急体制整備事業
空き家を活用していくことで対応をしていく	行政が担うべきではなく、民間の活力や知識を活用すべき	1ラウンド目で優先して実施し、終了したため	

茅ヶ崎市の未来のために大切にしたいこと、譲れないこと

<バーチャル市長の振り返り>



<その他議論>



茅ヶ崎市の未来を考えるポイント

地域コミュニティの再創出
大きな事業を行うのではなく、既存のもの(空き家など)を活用してコミュニティを創出する

安心した暮らし
行政でないとできない事業

健康な生活
安心した暮らしを行うための基本

「茅ヶ崎市の未来を考えるポイント」発表記録

私たちのグループでは今いくつか色々やったのですが、地域コミュニティの再創出、安心した暮らし、健康な生活という3つの視点で考えてみました。まず、一番上にあるように地域のコミュニティの再創出ということで、ここの中には空き家の利活用とかごみの排出量抑制、地域コミュニティ促進事業、商業振興、自主防災組織などをうまくやることによって、自主防災組織にしても地域に住んでいる人、まず商店街の人たちが例えば消防団などやったりするので、商業振興をしていかないと、商業が無くなってしまうとそういうふうな地域を下支えしている大事な人たちが消えていってしまうということで、こういったことをやっていく。ここで、繋がってくることによって活発になってくる。それから、安心した暮らしということで、当然、自分たちが生活していく中では下水を流していますけれども、その中の長寿命化事業。ただし、これについては、25年後にもう終わっていないかならないことなので、ここに入るのではなくて、計画的に本当はもう終わっている。教育施設の更新事業は、当然、ここでは25年経った後には人口が減ってくるので、再整備というか、あるものを更新するだけではなくて、集約化とかその他のことも出てくるだろうと。公園の整備事業、道路の整備事業があるのですけれども、これについては、公園に人を、子どもたちを集めてしまうのではなくて、コミュニティの再創出に関係するのですが、このところに例えば道路の整備とも関係するのですが、要するに、私は70歳ですけれども、昔子どもたちは近くの道路で遊んでいました。そのかわり、昭和40年くらいに始まったモータリゼーションで道路から追い出された。それで危ないからといって公園がどんどん作られてきた。そこで何が起こってきたかという、例えば、今色々ところで保育所、学校を作ろうとすると子どもの声がうるさい、騒音だという話が出てくる。それが、私たちが地域から子どもを外に出してしまった。だから、それをもう一度自分たちの住んでいるところに戻してくることでコミュニティを再創出してくるというような形をやったらどうか。それから、健康な生活。当然、そうやっていくには自分たちは健康でなければいけない。だから、子どもの医療費の助成事業や市立病院をもっと活性化してきちんとやっていく。健康診断は基本の基本です。当然、高齢化していますから、介護人材をきちんとやっていくという、ここは憲法で保障されている部分の一番の根っこのところだと思っています。それから、外してある事業、高齢者がいきいき暮らせる拠点整備事業なども含めて、そういうものをわざわざ作らなくても、あるものを利用して再活性化してはどうかでしょうか。公民館の充実事業も外してあるのは、コミセンなどもあるので、それももう一度考え直してはどうかということ。それから、わざわざ大きな事業を作らなくても、例えば空き家をうまく使えば、高齢者がいきいき暮らせる拠点整備事業も作らなくても。それから、大勢集まらなくても、5~10人集まるくらいの方が良いのではないかとということで、全部空き家に含まれるのではないかと、という形でやりたいと思っています。